



町ぐるみで花だんづくり

富士市花の会副会長
米山 務 (泉町)

○月○日 きょう植えたフラワーポットの草花が一夜で折られたり、盗まれてしまった。たつたひとりの心ない人の行ないがみんなの気持ちを暗くしてしまう。みんなで花を可愛がってほしいものだ。

○月○日 美化運動の一環として花だんづくりをはじめた。各支部では場所さがしに苦労している。ある支部では、道路沿いの幅20mの空地を利用している。花

花の会のみなさんのあき地を利用した花だんづくり。昨年1年間でこのような花だんが63カ所につくられました。今泉地区泉町で

は植えるつもりになれば、どんな場所にも植えられるものだ。

○月○日 会員に配布した花のたねについて支部から報告があつた。グループをつくって交代で管理し、苗が大きくなつたら分けあうようにしたいという。人の和もできるし、管理もよくできるので一石二鳥だ。

○月○日 きょうは町内で花だんをつくるからと連絡があつた。花だんをつくる場所にはゴミがいつぱい。ゴミをかたづけのおかあさん、土を運ぶ青年、整地す

るおとおさん、水を運ぶ子ども。みんなの協力で荒地が立派な花だんになつた

○月○日 花いつぱい運動がじよじよに理解され、花を植える家庭が多くなつてきた。これからも町中を花でいつぱいにするように、各家庭で花を植えてほしいものだ。

○月○日 フラワーポットの花がまたなくなつてしまった。これほど公德心のない人が多いとは考えられなかつた。こどものときから花を育てる心を養うように各家庭で指導してほしい。

富士市花の会(齊藤和可子会長)は、昭和42年8月に創立されました現在、会員は1,600人で、14支部にわかれ、美しい住みよい町づくりを実現させるための活動を行なっています。本年度もあき地に花を植える運動の推進、バラいつぱい運動などを重点に運動を進めていきます。